

# 錦江町「MIRAI」づくりプロジェクト

将来の錦江町を、日本を引き継ぐ子どもたち。  
私たちの子どもや孫のためにいま私たちに何が出来るか、  
一緒に力を合わせて、知恵を出し合って考えてみませんか

最新情報はこちらから ▶

錦江町まち・ひと・MIRAI 検索



## 錦江中学校で「情報モラル教育」

7月21日に、錦江中学校の1年生から3年生、全4クラスを対象に、私たちが生きていく時代(Society5.0)を安心安全に生きていくための「情報モラル」についてグループワークを中心とした講座を実施しました。

生徒たちは、SNSにおける情報モラルの教材動画視聴後、加害者にも被害者にもなりうる状況や場面をよく理解しながら、活発に、時には頭を抱えながら、グループで対話を行いました。錦江中学校でのICTリテラシー教育は全3回を予定しており、次回以降はインターネットサービス体験を含む通信機器の有効活用について実施予定です。



## 「2030 SDGs カードゲーム」を体験できます！

町内の学校や団体、事業者向けの体験会を随時受付けています。未来づくり課までお問い合わせください。☎ 25-1001



## 大根占小学校で「2030SDGs カードゲーム」

7月29日に大根占小学校の6年生を対象に、SDGs(持続可能な開発目標)について2030年までの道のりをカードゲームで体験できるワークショップ「2030SDGs カードゲーム」を開催しました。

SDGsは17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されていますが、このカードゲームはそれらの目標を一つずつ学ぶのではなく、世界と自分のつながりやSDGsの可能性を、カードゲームと振り返りを通して体感することができるものです。

体験した児童からは「人生の目標も豊かな社会もどちらとも達成するにはみんなと協力しないといけないと思った」、「チョコレートなどを買うときは世界のだれかを悲しませていないかを考えて買いたい」といった感想をもらっています。ワークショップ中、目を輝かせながら積極的に活動する6年生の姿が印象的でした。



## 錦江町フォトコンテスト

8月のお題は先月と同じで「夏の思い出」。夏本番、受賞された方には商品券を贈呈いたします。皆さんの「夏といえばこれ！」を教えてください！お待ちしております。9月のお題は「田舎で子育て」。

▶応募方法 町ホームページでご確認ください(下記QRコード)

▶応募締切 **8月31日** まで

▶受賞作品発表 9月中旬予定



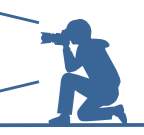
最優秀賞

Yukari-Na 様

子どもたちに残したい町の良いところ「これからも自然の生き物や綺麗な花がたくさん見られる町でありますように」とメッセージをいただきました。

6月のお題「ホッとする時間」

## まちの話題をピックアップ



任期は令和5年7月19日までの3年間。会長は宿利原勝吉さんが務め、毎月開催する定例会で農地の売買や転用など審査を行います。



## 基幹産業を支え、次の世代に農地をつなぐ 農業委員14名が新体制でスタート

町の基幹産業を支える農業委員14名が決まり、7月20日に委嘱状が交付されました。農地集積や遊休農地解消など、行政と連携して課題解決に取り組みます。

地区	担当者名	地区	担当者名
馬場	寺田 郁哉	麓	銅 康博
城元	鳥越 秀一 / 本釜 好子	上部	毛下 利美
神川	徳永 哲朗 / 内菌 雄治	大原	坂元 博美
宿利原	宿利原 勝吉 / 宿利原 進	川原	貫見 和洋
池田	鈴一磨 / 安水 純一	花瀬	元丸 敏朗

色付いた巨峰にハサミを入れる大原桜ちゃん(左)と名ヶ迫空蘭くん(右)。浜田観光農園 ☎ 25-2584 / しばたて観光農園 ☎ 25-3077



## 10種類以上のブドウが10月上旬まで 花瀬観光農園の収穫体験オープン

7月31日、収穫時期を迎えた花瀬観光農園組合の開園式が行われました。新型コロナの影響で例年行っているクラシック生演奏は中止。田代幼稚園の年長児など17名がハサミ入れのみ行いました。「長雨による日照不足で色付きが遅れたが粒は大きい。これから糖度も上がってくる。感染予防を徹底して収穫を楽しんで」と話す組合長の濱田隆介さん。10月上旬まで開園予定です。

## 大根占幼稚園の児童が描く夢を短冊に 夏の風物詩 七夕飾りに託す願い

7月2日、大根占幼稚園の園児80名が制作した色鮮やかな七夕飾りが届けられました。約1ヶ月、心を込めて制作した七夕飾りは町内9事業所に園児たちが持参。「お仕事がんばってください」と大きな声で手渡しました。「一生懸命チャレンジすれば夢は叶う。応援しています」と園児たちに声援を送った木場町長。総合交流センターに飾られ、来館者の心を癒していました。



短冊の願い(左から) ▶医者になりたい(松原徳くん)、薬剤師になりたい(川口蒼樹くん)、お父さん仕事がんばって(赤塚紗良ちゃん)

## 大根占小児童がビーチコーミングを実践 ごみ拾いから海洋ごみ問題を知る

7月22日、大根占小6年の児童23名が海洋ごみ調査を行いました。これまでも海岸のごみ拾いは行っていましたが、拾い続けるだけでは解決しない海洋ごみ問題。今回は拾ったごみを種類ごとに分類し、JEANに報告書を送る計画です。「海洋ごみの根本的な問題を知り、活動の理解を深めることが目的。豊かな海を守るため続けたい」と吉岡校長は意気込みを語りました。



「プラごみが一番多かった」と話す溝口央樹くん(左)。調査後はマリパークたるみずの協力でサップなどのマリンスポーツも体験。 ※一般社団法人JEAN=海ごみ問題解決に向けた活動を行っている団体